

**【 次期一般廃棄物最終処分場候補地についての提言 】**

平成 28 年 3 月以来「一般廃棄物最終処分場」についての広域化基本計画等の学習をはじめ、近年に建設された最終処分場や建設計画地の視察並びに、新しく稼働された「ながの環境エネルギーセンター」の見学等を重ねる中で、私達研究会としてはその安心・安全性について一定の理解が深まったものの、中条地区の住民目線で判断した場合には、残念ながら「迷惑施設」であるとの懸念は、まだ払拭されていないものと考えられる。

しかし、自分たち一般家庭が出す廃棄物処理の重要性と公益性を鑑みれば避けては通れない問題であり、当研究会としては長野広域連合の基本計画に基づく整備方針を理解し協力していくことにしたい。

したがって、公募で住民から提案のあった候補地 6カ所を別紙のとおり報告するが、これは決して中条地区への建設を積極的に希望してのことではないことをご理解いただきたい。

これを踏まえ、中条地区住民自治協議会においては以下の点について、十分な検討を行い、取り組まれることを期待する。

- 1 実際に最終処分場を整備する場合の様々な問題点の確認
  - ① 災害を誘発する危険性がないこと
  - ② 工事中や稼働中における騒音・排水・粉塵等の周辺環境への配慮と安全性
- 2 長野広域連合並びに長野市からの中条地区に対する地域貢献、跡地利用等将来展望に立って地域の振興・発展を最大の視点とし、地域住民の合意形成に努めること。

以上